

## 博士論文内容の要旨及び博士論文審査結果の要旨

氏名(生年月日)	牧田 幸文	(****年**月**日)
本籍	*****	
学位(専攻分野)	博士(医療福祉学)	
学位授与番号	甲第137号	
学位授与日付	平成28年3月14日	
学位授与の要件	学位規程第3条第3項該当	
論文題目	高齢者の“その人らしい暮らし”とその支援のエスノグラフィー	
審査委員	教授 長崎 和則	教授 飯田 淳子
	教授 熊谷 忠和	教授 松本 啓子

### 博士論文内容の要旨

高齢者が住み慣れた地域で尊厳を保ちながら行う“その人らしい暮らし”は、個別性が高く、高齢者の社会的・文化的文脈に即した理解が必要である。本論文では、“その人らしい暮らし”とそれを実現するための支援について、エスノグラフィーの手法を用い明らかにしたことは価値がある。事例で挙げた3人の“その人らしい暮らし”とは、それぞれ「魚売りの仕事を継続させる」「寺の前の家でこれまでの関係を継続した生活をする」「きれいなものを集め、猫と暮らし、母を探して歩き回る」であった。また、こうした“その人らしい暮らし”を支援するために、1)その人の持つ役割や能力を維持し活用する支援、2)社会関係を維持させるための関係性再構築の支援、3)新旧の共有の場の活用、4)支援の協働、の4つが重視されていたことが明らかになった。

### 博士論文審査結果の要旨

本論文は、高齢者の“その人らしい暮らし”とそれを実現するための支援を、これまでには採用されなかったエスノグラフィーの手法を用いて明らかにした論文である。高齢者が利用する小規模多機能型施設と施設がある地域でのボランティア活動を通して約1年間にわたる参与観察を行い、一人ひとりの社会的・文化的文脈を理解して“その人らしい暮らし”を詳細に記述している。また、それを支援するために重要なことを、地域特性と共に明らかにしたことは非常に意義深い。エスノグラフィーの手法を使った研究のあり方を示し、今後の高齢者支援の改善にも寄与すると考えられる。従って、博士論文にふさわしいと結論した。